

- 福井県の森林資源は本格的な利用期を迎えることから、主伐・再造林に対応できる人材の確保・育成が課題となっている。
- ふくい林業カレッジでは、就業前の若い世代や転職者等を全国から募り、林業に関する基礎知識や必要な資格や技術が習得できるよう研修を行い、即戦力となる人材の育成に取り組んでいる。
- 令和6年度は、新規入校生を確保するため、オープンキャンパスを開催した。

事業内容

ふくい林業カレッジ研修事業

ふくい林業カレッジの運営

- ・ 林業への就業に必要な基礎知識や技術の習得
- ・ 資格取得に必要な研修の実施

【事業費】19,600千円（うち譲与税16,421千円）

【実績】研修生4名

取組の背景

- ・ 福井県の人工林の約7割が本格的な利用期を迎え、主伐の促進による循環型林業経営を推進していくためには、森林整備を担う林業従事者の確保・育成が重要
- ・ また、県では生産性の向上や労働負荷軽減のために高性能林業機械の導入を推進しており、オペレーターとしての技術習得ができる体制づくりが必要

工夫・留意した点

- ・ 研修生を確保するため、ふくい暮らしはたらくサポートセンター等と連携した相談会、UIターン希望者を対象とした林業研修会、高校生への林業紹介授業の開催等、各種施策を積極的に実施している。
- ・ 高性能林業機械の技術習得のため、天候や場所に制約なく、実技練習の復習も兼ねた高性能林業機械VRシミュレーターを導入し、技術の向上を図った。

取組の効果

- ・ 新規林業就業者21名を確保（うちカレッジ生3名）
- ・ 研修内容の充実化により、カレッジ生の技術向上

◇ 基礎データ

①令和6年度譲与額：72,510千円	②私有林人工林面積（※1）：103,23985,674ha
③人口（※2）：766,863人	④林業就業者数（※2）：586人

※1：「2020農林業センサス」より

※2：「R2年国勢調査」より



伐倒研修



高性能林業機械
実技研修



オープンキャンパス
授業体験